

平成27年度採択 転倒が検知できる高機能化新型人感センサーを使い、アクシデントが発生した時に自動で通知する事が出来る在宅介護見守りクラウドシステムの開発

株式会社アドバンスド・デジタル・テクノロジー（福岡県）主たる技術：情報処理に係る技術

高齢化が進むにつれて、見守りシステムも急増している。しかし、現在市場に出ている見守りシステムは、被介護者が動作しなくなったのを感知するシステムである。動作しなくなってからでは、手遅れの可能性が高く、また、異常通知もボタンを押さねばならず、市場のニーズを満たしていない。

本事業では、市場のニーズを満たす転倒などを検知し、自動で通知することで手遅れを防ぐ在宅介護見守りクラウドシステムを開発する。

研究開発の成果

■人物抽出

・対象となる空間内の人物抽出において、頭部や体の認識率を向上をさせる上で大きな課題となったのがノイズへの対策であり、マスクデータを作成する等の各種ノイズ低減策を講じることで、目標として掲げていた人物認識率を達成出来ている。

■転倒検知

・転倒の検知自体は実現出来ている。

■実証試験

・本事業の2年目3年目と、研究開発期間内に2回の実証実験を実施する事が出来た。2年目は基本的な機能における課題。3年目では一步踏み込んだ安定性や、機能の精度といった点に焦点を置いて実施し、課題の抽出とデータの収集を行う事が出来た。

(転倒時の動作サンプル)



(実証試験の設置風景)



研究体制

事業管理機関：(公財) 飯塚研究開発機構

法認定中小企業：(株)アドバンスド・デジタル・テクノロジー
(株)ロジック・リサーチ、北九州工業高等専門学校、九州工業大学
アドバイザー：(株)西日本医療福祉総合センター、ニシム電子工業(株)、
大和ハウス工業(株)、日本マイクロソフト(株)、九州ヘルスケア産業協議会

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：管理部門 井上 梓

E-mail：info@adtco.biz

電話番号：092-981-6886